

# 「聴いて・考えて・つなげる」通信



## 体育科の先生たち

■■■■ (体育の授業)

「自分で考えて。」「誰が助けんの?」「動いてない人動いて」「どうしたいん?」まだまだいろんな言い方を持っている■■■■。子どもたちは規律を持ってしっかりと動くのですが、どこか自由な雰囲気があります。三年間育ててきた信頼関係もあるのだろうと思いますが、授業は最小限の指示をするだけです。いつも思うのですが導入の時の説明をととても大切にされています。あとから補足で説明ということがほとんどありません。「説明聴いて自分で考えて」なんです。「聴くと待つ」「考えさせるための黄金の言葉」は■■■■の場合は、「考えてみて」なのだと思います。

■■■■ (道徳の授業)

整った教室と、シャイな性格(←道徳の授業中に自分で言ってました。)実は絵がうまくて教室を手作りのもので飾ったりして色々な生徒をターゲットに学級経営をされる■■■■。道徳の授業では、指導案に沿って展開していくのですが、4組では思いのほか、だれと友達になりたいかというところでいろんな意見が出ました。どうするのかな?と見て、見ていると、別のアニメの登場人物にまで発展して子どもたちは議論をしています。ところどころ意見をひらって「え?なんで?この人ってどんな人なん?」と子ども同士の話をつないでいたのも印象的です。その後、ホワイトボードを班ごとに配布して、発表させる活動ではリーダーとしてその場を取り仕切る生徒、書記を買って出る生徒、意見を述べる生徒などに分かれ、発言しにくい生徒も参加できるような方法をとっておられました。何か意見を述べてみよう。と思えるような雰囲気と居心地の良い空間がありました。

3-3の体育の授業は「体力測定」を男女共習で行われていました。生徒は握力、長座体前屈を自分たちで測定していました。男女で同じ授業をするのですが、先生方お二人同士はとても簡単な合図だけで授業を進めておられました。



■■■■ (体育の授業)

この日はラジオ体操の確認をされていました。男女の生徒が数人ずつ出てきてラジオ体操をするのですが、とてもきれいに手が伸びて生徒が頑張る様子が伝わってきました。どんなところに気を付けてやるのかということ、そして■■■■が「気持ちを大切に!」ということの説明しておられたのが印象的です。授業に向かう気持ち、へたくそでも、頑張ってみようかな。と私が生徒なら思っただけで頑張れると思います。■■■■は毎日教室の黒板に子どもたちにメッセージを書かれています。うっかり忘れていた生徒もいると思います。連絡なども含めて文字で書いてあるとわかりやすいです。その中に気持ちを伝える言葉もありました。

